

## ■経済学研究科 修士課程

### 【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

21世紀に入り、私たちは経済・社会の大きな変化に直面し、解決すべきさまざまな課題を抱えています。こうした現代的課題の解決には、理論と実証に基づく現状の正しい理解と評価から導かれる政策提言・制度設計が求められます。経済学は課題の解決に向けた考え方とそのため科学的分析手法を提供する学問です。一橋大学大学院経済学研究科は、経済学及びその関連分野において、専門性と総合性を併せ持つ研究者と、学識ある高度な専門的職業人を養成することを目的としています。修士課程では、経済学の研究者を目指す人材、または学識ある専門的職業人を養成することを目的としています。

この教育目標を達成するため、以下「1. 修得する能力・資質等」に掲げるすべての能力及び資質等を修得していることを、「2. 修得した能力・資質等の判定方法」に基づいて確認し、修了の認定を行い、修士（経済学）の学位を授与します。

#### 1. 修得する能力・資質等

- (1) 経済学の高度な専門的知識と分析技術
- (2) 最先端の学術論文や研究発表を理解する能力
- (3) 経済・社会の課題を発見し、経済学に基づいた的確な分析を行う能力

#### 2. 修得した能力・資質等の判定方法

- (1) 「コア科目」を含む所定の単位を修得していること。
- (2) 「演習」を履修し単位を取得するとともに修士論文等の審査及び最終試験に合格すること。

これらの能力・資質等を身に付けた学生は、例えば、経済学分野での研究者を目指したり、官公庁、国連やIMF・世界銀行などの国際機関、民間の研究機関やシンクタンクなどにおいて調査・研究や政策立案に従事したり、民間企業などでデータ分析等の専門性をビジネスの現場に活かしたりするなど、様々な場で活躍することが期待されます。